

◆ 科目名 基礎看護学Ⅲ	単位数 (2)・科目時間数 (60) 時間			
単元名 ヘルスアセスメント 単元時間 60H	開講時期 2023年5月予定	講師名 鹿澤 京子 江波戸 洋介		
【科目目標】				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護における観察・記録・報告の意義、目的、必要性を理解し、看護活動に必要な観察・記録・報告の方法を習得できる。</li> <li>2. ヘルスアセスメントの意義、機能を知り、看護におけるヘルスアセスメントの重要性を理解できる。</li> <li>3. ヘルスアセスメントとフィジカルアセスメントの関連を理解し、フィジカルアセスメントにおける基礎的知識と技術を系統的に習得できる。</li> </ol>				
【授業内容】				
<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ヘルスアセスメントの意義               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ヘルスアセスメントとは</li> <li>2) ヘルスアセスメントの意義・目的</li> </ol> </li> <li>2. ヘルスアセスメントの機能               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 系統立てた情報収集</li> <li>2) 他職種とのコミュニケーション</li> <li>3) 専門職としての信頼と自信</li> <li>4) アセスメントの関心、魅力、実感</li> <li>5) 専門職としての臨床的判断と批判的思考</li> <li>6) 看護におけるヘルスアセスメントの重要性</li> <li>7) フィジカルアセスメントとヘルスアセスメント</li> </ol> </li> <li>3. フィジカルアセスメントの展開               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 看護におけるアセスメント</li> <li>2) 看護師と医師のアセスメントの相違</li> <li>3) フィジカルアセスメントの導入</li> <li>4) フィジカルアセスメントに必要な人体の構造と機能</li> <li>5) 心理的・社会的側面のアセスメント</li> <li>6) 対象者の問題や状態のアセスメント</li> </ol> </li> </ol> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> <li>4. 機能的健康パターンと系統別アセスメント               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ゴードン機能別パターンの記録</li> </ol> </li> <li>5. フィジカルアセスメント総論               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 身体計測</li> <li>2) バイタルサイン</li> <li>3) 頭頸部のアセスメント</li> <li>4) 呼吸器系のアセスメント</li> <li>5) 循環器系のアセスメント</li> <li>6) 腹部のアセスメント</li> <li>7) 乳房と腋窩のアセスメント</li> <li>8) 直腸・肛門・性生殖器のアセスメント</li> <li>9) 脳・神経系のアセスメント</li> <li>10) 筋・骨格系のアセスメント</li> </ol> </li> </ol> </td> </tr> </table>			<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ヘルスアセスメントの意義               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ヘルスアセスメントとは</li> <li>2) ヘルスアセスメントの意義・目的</li> </ol> </li> <li>2. ヘルスアセスメントの機能               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 系統立てた情報収集</li> <li>2) 他職種とのコミュニケーション</li> <li>3) 専門職としての信頼と自信</li> <li>4) アセスメントの関心、魅力、実感</li> <li>5) 専門職としての臨床的判断と批判的思考</li> <li>6) 看護におけるヘルスアセスメントの重要性</li> <li>7) フィジカルアセスメントとヘルスアセスメント</li> </ol> </li> <li>3. フィジカルアセスメントの展開               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 看護におけるアセスメント</li> <li>2) 看護師と医師のアセスメントの相違</li> <li>3) フィジカルアセスメントの導入</li> <li>4) フィジカルアセスメントに必要な人体の構造と機能</li> <li>5) 心理的・社会的側面のアセスメント</li> <li>6) 対象者の問題や状態のアセスメント</li> </ol> </li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>4. 機能的健康パターンと系統別アセスメント               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ゴードン機能別パターンの記録</li> </ol> </li> <li>5. フィジカルアセスメント総論               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 身体計測</li> <li>2) バイタルサイン</li> <li>3) 頭頸部のアセスメント</li> <li>4) 呼吸器系のアセスメント</li> <li>5) 循環器系のアセスメント</li> <li>6) 腹部のアセスメント</li> <li>7) 乳房と腋窩のアセスメント</li> <li>8) 直腸・肛門・性生殖器のアセスメント</li> <li>9) 脳・神経系のアセスメント</li> <li>10) 筋・骨格系のアセスメント</li> </ol> </li> </ol>
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ヘルスアセスメントの意義               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ヘルスアセスメントとは</li> <li>2) ヘルスアセスメントの意義・目的</li> </ol> </li> <li>2. ヘルスアセスメントの機能               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 系統立てた情報収集</li> <li>2) 他職種とのコミュニケーション</li> <li>3) 専門職としての信頼と自信</li> <li>4) アセスメントの関心、魅力、実感</li> <li>5) 専門職としての臨床的判断と批判的思考</li> <li>6) 看護におけるヘルスアセスメントの重要性</li> <li>7) フィジカルアセスメントとヘルスアセスメント</li> </ol> </li> <li>3. フィジカルアセスメントの展開               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 看護におけるアセスメント</li> <li>2) 看護師と医師のアセスメントの相違</li> <li>3) フィジカルアセスメントの導入</li> <li>4) フィジカルアセスメントに必要な人体の構造と機能</li> <li>5) 心理的・社会的側面のアセスメント</li> <li>6) 対象者の問題や状態のアセスメント</li> </ol> </li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>4. 機能的健康パターンと系統別アセスメント               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ゴードン機能別パターンの記録</li> </ol> </li> <li>5. フィジカルアセスメント総論               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 身体計測</li> <li>2) バイタルサイン</li> <li>3) 頭頸部のアセスメント</li> <li>4) 呼吸器系のアセスメント</li> <li>5) 循環器系のアセスメント</li> <li>6) 腹部のアセスメント</li> <li>7) 乳房と腋窩のアセスメント</li> <li>8) 直腸・肛門・性生殖器のアセスメント</li> <li>9) 脳・神経系のアセスメント</li> <li>10) 筋・骨格系のアセスメント</li> </ol> </li> </ol>			
【評価方法】				
筆記試験またはレポート				
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教科書・参考書等</p> <p>系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学 ② 医学書院</p> <p>看護がみえる Vol.3 フィジカルアセスメント メディックメディア</p> </div>				